

NPO法人ストロベリーフィールド

【企業主導型保育】氷川台いちご保育園（練馬区氷川台2-12-3）

【大切にしているのはこんな保育】

☆子どもたちが、自ら成長していくことを、じっと見守る

保育園の立ち上げ当初から「子どもたちを見守ること」を特に大事に園運営をしてきているとのこと。園長の佐藤さんから「子どもが自分で何かを乗り越えようとしているときに、つい大人側は良かれと思って手伝います。ですが、そういうことを繰り返していると、子どもが自分自身で成長していくことを、かえって邪魔してしまいます。なので、当園では“子どもを急かさないで見守る”“子どもより大きな声は控える”などを具体的に大事にしています。」とのお話でした。



子どもたちがとても落ち着いていて、この人数でも職員2名（近くに他3名います）で見ているとのこと。

☆子どもたちは、毎日生まれ変わる

子どもに何か変わったことがあると「昨日まではこうだったから、こうだ」と保育士の主観が入りがちです。でも子どもたちは毎日成長するので、常に新しい視点で子どもたちを見るように、という話がとても印象的でした。

【目指しているのはこんな保育】

☆よりよい保育を目指して、常に学び続けること

モンテッソーリ教育を取り入れているいちご保育園ですが「私たちなりの“いちごモンテ”を目指していきたい」というお話がありました。モンテの手法を取り入れつつも、その地域の特徴や、子どもたちの様子、日々の試行錯誤をしながら、つくりあげていきたいということでした。そのため園長佐藤さんも絶えず学び続けており、その姿に保育士の方々もすごく刺激を受け、学びをし続けていることが一番の特徴とのことでした！

2022年7月31日（日）

13:00～17:00

【お話しくださったのはこの方】



園長の佐藤さんが、保育で一番大事にしているのは「環境」の2文字。

「子どもたちは、環境をしっかり整えれば、驚くほど自分たちで生活できる」と力強く話していました。その反面、保育者は、どれだけ適切な環境を整えられるか、よい緊張感を持ちながら、日々保育に臨んでいるとのことでした！

園長 佐藤智子さん
リーダー 大泉裕里さん